



「ダメ、ゼツタイ。」



南警察署 刑事第二課 薬物銃器係
平成29年採用 巡査
西南学院大学 卒業

警察官になったきっかけは？

きっかけは中学生の頃、夢中になって読んだ漫画でした。その漫画は、消防士の活躍を描いたものですが、人のために尽くす主人公の姿がかっこよく、その頃から漠然と「誰かのためになる仕事に就きたい」と思うようになりました。大学4年生になり就職先を決めるときには、とても迷いましたが、最後は「警察官が一番かっこいいやん！」という単純な理由で決めたのを覚えています。

現在の職場環境について教えてください。

現在私は、違法な薬物や銃器に関する取締りや捜査をする係で刑事として働いています。警察官としても刑事としても、ひよっこな私ですが、上司や先輩の温かくも厳しい指導のおかげで、日々成長を実感しています。警察官というと、男社会で体育会系のイメージですが、女性が活躍できる環境があり、働きやすい職場です。当直勤務の日に事案が発生して眠れないときはキツイですが、その分、翌朝「やりきった！」という達成感は大きいです。

印象に残っているエピソードはありますか？

以前、覚醒剤を使用して逮捕された被疑者を担当したのですが、その被疑者は「何でこんなに止められんのやろうね」「やめたい気持ちはずっとあるのに、悪い虫がわいてくるんよ」と涙ながらに話していました。薬物の使用や所持の犯罪は、「被害者のいない犯罪」とよく言われますが、この被疑者の言葉を聞いたときに、「この人達もある意味、被害者なんだ」とはっとしたのを覚えています。それまで私は、犯罪を犯したことばかりを責めていましたが、この取調べをきっかけに、一人ひとりに人生があり、薬物に手を出すようになった背景や環境があるのだと気付くことができました。このように、上司や先輩からだけでなく、被疑者の取調べを通して学ぶこともあり、「刑事って奥が深いな」と感じています。

警察学校での生活はどうでしたか？

入校前は不安でいっぱい、インターネットで「警察学校」と何度検索したか分からないくらいです。実際に入校してみると、確かにきつい日々でしたが、成長の日々でもありました。特に私は、要領が悪く、付いて行くので必死でした。最初の頃は、「警察官には向いてないかもしれない」と何度も思いましたが、そのおかげで弱い自分と向き合えましたし、かけがえのない同期生もでき、強い精神力と体力を身につけることができました。

休日の過ごし方は？

音楽を聴いたり、読書をしたり、ジョギングをしたり、気分転換をして英気を養っています。